

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'21.8

ご挨拶 会員の皆様へ

同窓会会長 古谷 顯史郎



会員の皆様には、常日頃、同窓会活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年初めに新型コロナウイルス感染症が確認されて1年半、ワクチン接種が徐々に進んではいるものの、未だ終息の気配どころか拡大傾向の波に翻弄されています。この様な状況下、母校では、授業時間の変更、放課後活動の制限、時間差登校、一部リモート授業、緊急事態宣言下では、原則、中体連の大会参加の練習以外は放課後活動不可等、制約が多く学校生活のリズムを整える事が難しそうです。その他、校外学習の延期、運動会、文化研究会も昨年同様、規模を縮小して開催予定との事。現役生徒諸君の精神的なストレスを心配する必要に迫られている様です。

本年の同窓会の活動は、6月26日に学校からの要請に合わせ参加人員を縮小して同総会誌発行の各部実務担当を中心に常務理事会を開催しました。昨年度の決算、今年度の予算案、常務理事人事の件、同総会誌「フレッシュアップコミュニケーション」の記事内容等の確認を行い、決算、予算案、人事を承認致しました。42期、43期合同でお願いする事になっております今年の総会は、10月30日(土)を予定しております。現在、委員会で開催については検討して頂いております。創立75周年記念事業に付きましては、体育館床の張替えが1年遅れとはなりましたが、夏休み中に施工されます。また、記念式典、講演会の企画、運営に付いて同窓会は、事業部を窓口としてPTA、学校とも連携、協力して参ります。話は変わりますが、2001年1月20日に設立された母校の教

育後援会「創竹会」は今年、創立20周年になります。少し「創竹会」に付いて説明させて頂きます。

2000年3月に旧文部省から国立大学の附属学校では、PTAで寄付金の徴収、募金活動は不適切であるとの指導があり、創竹会が設立されました。当初の予算は、2000万円程度だったと思います。(大学からの予算は当初1000万円程度有りましたが現在では7割減となっております。)その間、保護者の皆様、同窓会の皆様など多くの方のご理解を得て、ご支援、ご協力を頂き、75周年事業計画の寄与も有り年間予算は繰越金を含め約6000万円と大幅に増加しました。これにより、今まで何とか生徒が学校生活を行う為の最低限の投資しか出来なかった環境から、日本でも最先端の教育環境整備が少しずつ出来る様になっております。

結びになりますが、会員の皆様には、今後共、同窓会と創竹会の活動にご理解を頂き、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせて頂きます。

令和三年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第42期(平成二年度卒業)・第43期(平成三年度卒業)

○日 時 / 令和三年10月30日(土)

【受付開始】13時30分より

【第一部 総会】14時00分～14時30分

【第二部 懇親会】14時45分～

○会場 / 新型コロナウイルスの感染状況を勘案して最終的に決定いたしますため、会場については10月以降同窓会ホームページをご確認ください。もしくは総会担当幹事までご照会お願いいたします。

竹早中学校同窓会ホームページ

<http://www.takehaya-jhs-dousoukai.net/>

【総会担当幹事】

42期 谷内(高橋)真理子(080-5547-0617)

43期 田近孝之(080-3935-0086)

○会費：一般：1000円程度*

ご招待 現・旧教職員の方々、高校生

*懇談会で飲食が可能かどうか等についても9月末に決定いたしますため、会費についても同窓会ホームページをご確認ください。

ご出席・ご欠席ハガキの返信期限：10月15日

創立75周年に向けて

学校長 藤本光一郎



同窓会の皆様、日頃より様々な形で本校にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度はコロナ対応に追われた二年でしたが、今年度はコロナ対策と子どもたちの学校生活の充実との両立に努めて学校運営を行っております。3月には72期143名を送り出し、4月には75期140名の新入生を迎えることができました。式典に在校生は参加できませんでしたが、保護者の方々も参列し、人生の節目の日を思い出深いものにできたのではないかと思います。4月には教員の入れ替わりも多くありました。

さて、来年度、2022（令和4）年度は、本校創立75周年の記念すべき年になります。すでにお知らせいたしましたように、75周年事業の柱としては、同窓会の皆様をはじめ多くの方々からいただいた寄付をもとに、体育館が改修されます。機器類やカーテンなどの音響改善工事はすでに行い、今年の夏に体育館の床の改修工事を行います。オリンピックや国際大会の基準にも適合する素材を用い、安全性、メンテナンス性が向上します。床の改修後、必要があれば追加の音響工事を行います。このような多額の費用のかかる工事は、大学の財源を頼って行うことは残念ながら困難です。今回のように目的を絞って寄付金を募り、事業を行うという形式は、私立

学校では普通に行われていることですが、国立の附属学校では例が少ないようです。これも同窓会、創竹会、PTAの三者の皆様のご協力のおかげと、改めて感謝申し上げます。今回の取り組みを一つのモデルとして、今後の子どもたちの教育環境の整備につなげていくことができればと考えております。

また、2022年度の終わりには、コロナ禍が少し収まっていることを期待し、体育館のお披露目もかねた記念行事も実施できればと考えております。実施にあたりましては、同窓会の皆様のご協力を是非とも賜りたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

三年間を竹中で過ごす幸せ

副校長 森 顕子



私が学年主任として関わった66期は、コロナ禍の気配が、中国で流行しているらしい、といった、令和元年一月に成人式を迎えました。百人余りがぎつしりと集まったみんな笑顔の写真を、校長・副校長室の棚に置いて時々眺めています。

それからほんの二ヶ月後には、全校休校となり、卒業式も在校生の参列しない簡略なものとなりました。新学期の始まりも六月でしたが、そんな異常事態の中で、終わりの見えない不安と、それでも来年には以前のよ

うな生活に戻れるだろうという不確かな希望に揺れる日々を送ってきました。現状、未だ緊張を緩められない状況が続いています。

中学校生活は三年間しかありません。この三年間に、七十年余り竹中が築いてきた文化の継承と発展がさらに積み上げられてきました。その多くは、工夫の凝らされた日々の授業、校外学習、運動会、文化研究発表会といった学校行事への取り組み、生徒同士、教師との関わり、そういったものが育んできたのです。

行事も授業もままならない中、72期生は、この三月に卒業いたしました。最終学年として、自分たちの総決算であるとともに、先輩達が行って来たように後輩達に伝えていこうと意気込んでいました。しかし、コロナ禍以前のような形では何も行うことができません。自分たちは卒業していくのだというこゝろがわかったとき、心底、竹早中学校、という存在を憂えて、後輩達へ、様々残そうとしてくれました。卒業が近づくにつれて、ひりひりとした焦燥感が伝わってくる、例年とは違う三月だったと思います。そして、文研で学年参加の形で言葉を集めてくれたり、部屋に木製のプレートを作ってくれたり、有志で動画を作ってくれたり。これからどんな世界になったとしても、竹中の不易は同窓生の中にこそあるのだと思います。そして必ず新しいものを得て発展すると思うのです。七十年記念誌に当時の生徒会役員との座談会が載っています。ぜひ、ご覧になってみてください。これからもぶれることなく、泰山木を指標として子どもたちに寄り添いたいと思います。一層のご支援・ご協力の程、お願い申し上げます。

新任・退任の先生挨拶

●退任あいさつ

加藤 英明



本校には三十年間勤め、昨年度で定年退職しました。在職中、地区の全面改築があり、中学だけの旧校舎と小中合併した新校舎の両方で生活をしました。新校舎での生活が二十余年となりましたが、今でも旧校舎と旧制服の生徒との生活は鮮明に記憶に残っています。竹早中学は、永遠に私のホームコートです。皆さん、今まで大変お世話になりました。今年度からは、非常勤講師として勤務しています。改めまして、よろしく申し上げます。

阿部 由美



昨年度までお世話になりました。国語科の阿部由美です。現在は附属世田谷中学校で1年生と楽しく学習をしています。先日「文献引用に際して必要な事項を書き留める」をテーマに図書室と連携して授業を行いました。その授業で新聞記事を選んでいた折、竹早の生徒の投書を見つけ、懐かしい気持ちになりました。生徒の皆さんの学習が豊かなものがありますように、また、先生方のご健康、竹早中学校のご発展を心からお祈りしております。

岩瀬 三千雄



昨年度末に、二度目の定年を何とか迎えることが出来ました。これも竹早中に関わる多くの方々のお力添えがあつての事と、深く感謝申し上げます。竹中に着任したのは二十世紀昭和時代。ずいぶん空が広がったし、校舎からの富士山がきれいでした。自ら考え行動する竹中生の姿に、感動と驚異を覚えた日のことを、昨日のことのように思い出されます。それだけに、既に丸一年を越えた新型コロナウイルス禍の、一日も早い解消を祈るばかりです。

酒井 やよい



附属高校28年、竹早中学校に10年勤務し、卒業生のお子さまを教えるなど、長くお世話になった恩恵も受けました。そして、自主性のある生徒たち、丁寧に育てようとする先生方と一緒に過ごした年月は、とても充実していました。この2年間は、コロナに阻まれ、制限も多かったですが、生徒たちは竹早スピリッツを伝えようと常に前向きで、貴重な時間を私も一緒に楽しく過ごすことができました。在校生、卒業生、保護者の皆さま、先生方に深く感謝いたします。これからの皆様方のご健康と竹早中学校の益々のご発展をお祈りいたします。

飯田 遼

竹早中学校同窓会のみなさま。こんにちは。昨年度、1年生の担任と社会科を担当させてい



ただきました飯田遼です。たった1年の竹早中での教師生活でしたが、非常に刺激的な一年であったように感じます。昨年度はコロナ禍での学校のスタートとなり、例年とはちがってオンラインでの学習から授業が始まりました。教職員同士はMicrosoft Teamsを使つてのコミュニケーション、生徒とはZoomやロイロノートを活用してのオンライン授業、そうした初めての試みに、竹早中の教職員として携われたこと、またその中で深い学びを継続することができたこと、大変貴重な経験をさせていただきました。

竹早中の生徒たちは、本質をつくことについていると思っております。社会科の授業において、中学1年生とはとても思えない鋭い質問を何度も受けました。そのような問いを立てることができる力、またそれを質問し意見を交わすことができる力、まさに知性が育まれる場であると強く感じました。こうした竹早中の学びの文化が、デジタルの時代になっても変わることなく、これからも続くことを切に願っております。同窓会のみなさま、先生方、生徒保護者のみなさま、1年間ありがとうございました。

●新任あいさつ

神澤 志乃



本年度から着任しました神澤志乃（カザワシノ）と申します。教科は家庭科です。中学校の3年間は、多感で心身ともに成長が著しく、たくさんのことを吸収でき

るとても貴重な時期です。このようなすばらしい時期に、竹早中学校の生徒のみなさんと共に学べることを大変光栄に思っています。クラス担任として、教科の家庭科を通じて、委員会や部活動を通して、生徒のみなさんの成長を支援していければと思います。よろしくお願い致します。

清和 隼弥



今年度、竹早中学校で勤務することになりました。数学科の清和隼弥と申します。1年生と3年生の数学の授業、1年生の副担任を担当しております。数学では、他者との協働や新しいことを自らの力で生み出すことの楽しさや難しさを生徒と一緒に感じていけるような授業を行っていきたいと考えております。大学を卒業したばかりで、多くの方にご迷惑をおかけすることもありますが、どうぞよろしく願います。

中込 泰規



今年度より竹早中学校に勤務することとなりました。理科の中込泰規（なかごみ たいき）と申します。3年D組の担任、部活動はサッカー部と吹奏楽部を担当します。竹早中学校に赴任し、本日に1日1日があつたという間に過ぎ、気がつけば3ヶ月が経過しました。コロナの影響で様々なことに制限がかかっているものの、生徒の皆さんはそれぞれ最大限に工夫しながら、充実した活動を自分たち

で創り上げており、竹中生の力、可能性を実感しております。保護者、同窓会の皆様、様々なところでお力をお借りすることと思ひます。どうぞよろしく願ひいたします。

内藤 圭太



本校着任前は、埼玉大学教育学部附属中学校、埼玉県戸田市、川口市の公立中学校に勤務していました。昨年の今頃、管理職や教育行政職なども含めて、自分の将来を考える機会がありました。その時、担任や社会科授業を続けられたら、と思うようになりました。ご縁をいただき竹早中に着任しました。「すべては自分の選択」という言葉を大切にしています。自分の選択が正しかったと言えるよう精一杯取り組みたいと思ひます。

堀内 泰



本年度、豊島区立千川中学校から参りました、「堀内泰（ほりうち たい）」と申します。よろしく願ひいたします。竹早中学校には以前9年間務めていたのですが、久々に戻つて参りました。気持ちはまだまだ若いつもりでいたのですが、教員人生の折り返しをとっくに超えていることに最近気づき、ちよつとびびりしています。竹早の自由な校風を大切に、生徒たちと有意義な日々を過ごしていきたいと思ひます。どうぞよろしく願ひいたします。

42期幹事より

あつという間のような一年が過ぎました。季節の移り変わりを感じられない事がこれほどにも日々の生活や記憶に色合いを失わせ、節目なく時間だけが過ぎていくという事を知りました。2020年7月に開催予定だった同窓会は延期され30年ぶりの同級生との再会と同様に、40期先輩のジェーン・スーさんのご講演もお預けとなりました。

そんな中スー先輩のご活躍は素晴らしく、なんと昨年のフレッシュアップコミュニケーションでも触れた先輩著作の「生きるとか死ぬとか父親とか」がテレビ東京系でドラマ化され、毎週金曜日夜に全12話の放送がありました。これには我々の代もまた歓喜しお互い友人たちに知らせたり、放送後に観た感想を話したり、1週間のそれぞれの様々な疲れの後の癒しとして、本ドラマを観てじんわりするお時間を頂き大変感謝しております。同世代としての共通要素や、同じように竹早の周辺地区に通い育った故郷を感じる者として、また家族や友人、仕事というテーマの中に同じように共感する部分が幾つもあり、毎回深く考えさせられるだけでなく心に何かじんと振動が届くような体験でした。また、特にコロナ禍でそういった何かを観て感性に届くような機会も貴重でドラマは贈り物のようでした。

そんな我々でするので、そして今回共同開催で一緒に43期の幹事の皆様ともご相談の上、本年度もやはり同窓会ではスー先輩のお話をお聞きしたいとなりました。その後、10月末での開催検討との理事会からのお知らせを受け、即座にまたスー先輩に本年度のご講演依頼をいたしました。コロナ禍でこの先がどうあるか全くもって不明瞭な中、非常にご多忙なスー先輩にこれまたご快諾いただけただけは、それだけで大変嬉しくありがたいものでした。

本年度の開催につきましては今後の状況を十分に考慮した上で最終的な決定があると思われませんが、それでも、この準備の中で、同じ同窓生として、理事の皆様をはじめ、多くの先輩方にご相談に乗っていただいたり、また頼もしい後輩の皆様ともこの機会でご話したり、もちろん同級生との日々のやりとりなど、竹早を通じて同窓生同士のコミュニケーションの機会自体をいただいたことにも大変感謝しております。この社会で日々、竹早で同じように学んだ同窓生が皆それぞれの場において様々なことに従事され活躍されていることを思うと我々もまた日々励んでいるかねばと思う次第です。また今後しばらく続くであろうこの状況下において、同窓生の皆様と皆様のご家族やご友人が皆、健康に過ごせますように、皆さまどうぞご自愛ください。

同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助金につきましては、今年度は次のような備品に使わせていただきます。

- モルテン バレーボールかご（バレーボール部）
- クラリネット・楽器修理（吹奏楽部）
- 更衣室ロッカー（保健体育科）

今年度はコロナ禍のため、部活動は行えない期間が長くありました。活動が行えるようになる日々に向けての備品を整えることができました。例年、御支援を賜り、感謝申し上げます。

今後とも引き続き、部活動に対する応援、ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

維持会費同窓会支援寄付金 ご協力のお願い

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもつてこれにあてる（同窓会会則22条）。

2020年度の収入は約328万円、支出は約254万円でした（2020年度会計報告参照）。収入内訳は、入会金143万円、維持会費約92万円、同窓会活動支援寄付金約70万円、その他約23万円でした。

維持会費は、毎年2000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、払込人住所氏名欄の住所・氏名・卒業年次の記入をお忘れなく（毎年払い込みください）。

令和3年度 同窓会常務理事

会長	古谷顕史郎	13
副会長	松岡 隆司	14
顧問	村上 一路	13
	二瓶 好正	7
	田中 元次	2竹
	三嶋 明	13
監事	高柳 良夫	3竹
	高島 正子	7
総務部	白江 千治	26
	白石 英行	31
	神沼 厚史	40
事業部	田中 充	29
	高島 裕	36
	野島 雅	41
広報部	田上 陸美	33
	関根 青磁	38
名簿部	安井 肇	19
	根本 律子	31
	関根あすか	36
会計部	正野 敬子	19
	永井真知子	19
	石黒由香里	26

令和2年度竹早中学校 同窓会活動報告

第1回常務理事会

緊急事態宣言下中止

第2回常務理事会

6月20日(土) 5階会議室 コロナ対策の為代表者のみ出席

第3回常務理事会

9月26日(土) 5階会議室

3年保護者説明会

11月14日(土) 白石理事 zoom配信中にて説明

第4回常務理事会

2月20日(土) 5階会議室

入学式・運動会・文化研究発表会・卒業式いずれの行事もコロナ対策の為来賓の参列及び同窓会代表の出席取り止め
(各お祝い金1万円・卒業記念品マグカップ・同窓会名簿を贈呈)
同窓会懇親会・総会は中止
(尚、総会は10月30日に令和2年度担当42期幹事と令和3年度担当43期幹事の合同主催として現在準備中)

名簿デジタルデータ更新 について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓

会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会返信葉書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。

③随時、郵送又はメールにてデータ提供をいただいた場合、更新致します。

・自分の住所等の変更があった時
・2017年版名簿に記載誤りがある時
・2017年版名簿に友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時

※なお、ご本人が公表拒否を希望されている情報は、同窓会のみ管理となります。

連絡先…〒112-0002

東京都小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校

同窓会総務部 白石 英行 宛

E-MAIL bunkyo@mail.ne.jp

④デジタルデータ更新は年2回(3月・9月)行います。

⑤同期会開催の場合、各年次委員に限定しデータ提供を行います。

創立70周年記念誌の販売

懐かしい母校の活動や同窓生の座談会を記載した、創立70周年記念誌を販売中です。振込用紙からお申し込み下さい。

記念誌販売価格4000円

(令和元年度維持会費+送料+記念誌代)

2020年度 会計報告

(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	9,129,394	Ⅲ 本年度支出	2,541,407
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,435,405
普通預金	1,701,647	総会・懇親会開催準備費	15,929
郵便貯金	4,363,878	常務理事会費	22,730
小口現金	63,869	総務費	-
Ⅱ 本年度収入	3,280,479	文書事務費	10,200
【内 訳】		郵便連絡費	87,435
新入会員会費	1,430,000	慶弔費	20,000
同窓会活動支援寄付金	696,200	卒業記念品代	108,240
維持会費	920,000	クラブ活動援助金	600,000
預金利息	279	名簿入力・追録費	78,584
名簿売上	144,000	ホームページ作成・維持費	49,500
70周年記念誌売上	90,000	差引残高	9,868,466
合計	12,409,873	Ⅳ 次年度繰越	9,868,466
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	1,426,672
		郵便貯金	5,287,619
		小口現金	154,175
		合計	12,409,873

注:(1)送料を含む

2021年度 予算案

(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	9,868,466	Ⅲ 本年度支出	6,650,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,500,000
普通預金	1,426,672	総会・懇親会費	500,000
郵便貯金	5,287,619	常務理事会費	50,000
小口現金	154,175	総務費	120,000
Ⅱ 本年度収入	2,820,200	文書事務費	70,000
【内 訳】		郵便連絡費	190,000
新入会員会費	1,500,000	慶弔費	90,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	卒業記念品代	140,000
維持会費	800,000	クラブ活動援助金	600,000
預金利息	200	技能強化支援金	100,000
70周年記念誌売上	20,000	名簿入力・追録費	170,000
		ホームページ作成・維持費	120,000
		名簿作成費	3,000,000
		差引残高	6,038,666
		Ⅳ 次年度繰越	6,038,666
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	1,000,000
		郵便貯金	2,000,000
		小口現金	38,666
		合計	12,688,666

注:(1)送料を含む

同窓会理事会で活動しています

同窓会理事

神沼 厚史

皆さん、同窓会理事会はどのような活動

をしていると思いますか？簡単に説明すると「我々竹早中学校同窓生」と「竹早中学校」及び「竹早中学校在校生」との交流の懸け橋を担っている世話役的な存在です。在学中は気が付かなかったかもしれませんが、我々が当時平穏で楽しい学校生活を過ごせたのも「竹早中学校の先生方」「PTA」「創竹会」そして「竹早中学校同窓会」が陰で支えてくれたりしたからです。

実は恥ずかしながら、私も同窓会理事会に携わるようになったのですが、竹早中学校の部活動が円滑に活動できるように用具の購入の補助など様々なお手



伝いを竹早中学校同窓会を通し同窓会理事が働きかけていたことを知りました。

同窓会理事会の活動を通じ、学校・後輩達の役に立っていると実感すると自分自身も嬉しくなってきました。特に、運動部の部活動は後輩たちの活躍もあり今では大会で優秀な成績を納める実力となっています。スポーツと学問、文武両道の努力を常に惜しまない後輩たちの支援が今後もしていきたいと更に思いました。

また、ここで理事会のメンバーについてお話しします。理事会のメンバーは男女半々、年齢は30〜80代と年齢層も幅広く色々な職業の方がいらっしやいます。もし社会でしたら口すら聞くことも出来ない様な企業役員・政治家・医師・大学教授等の素晴らしい諸先輩方々が多数いる中、同窓会理事のメンバーの皆さん皆フレンドリーでまるで部活動・サークル活動の様な和気藹藹とした会です。メン

バーにも恵まれ、理事会活動を通し自分達も楽しみながら、学校・後輩達が喜んでいただける支援活動が出来るという素晴らしい会です。今賛同頂け理事にご参加いただける30・40代の理事も増えて来ております。私自身も様々な年代・キャリアの方々との語らひは刺激的で且つ興味深く自らの成長にも役立たせて頂いています。

今後の同窓会理事会では、昨年から続くコロナウイルスの影響を受け、後輩達の学びを止めない”支援活動と、令和5年3月の創立75周年に向けて記念行事の寄付活動の支援を行って行きたいと取り組んでいます。皆様の益々の同窓会活動のご支援のご協力をお願いと、今同窓会理事になっていただけるお仲間を集っています。有意義な活動ですので皆様のご参加いつでもお待ちしております。

創立70周年を記念し、2022年3月発行に向けて準備を進めています。また、卒業時に決めて頂きました各年次委員（2017年度版名簿で○又は◎がついた方）へ、7月下旬に各期の名簿を郵送し、確認作業の依頼をさせて頂いております。各年次委員の皆様には、ご協力頂き11月22日までにご返送頂けますよう、お願い申し上げます。

2022年版同窓会名簿

また、卒業時に決めて頂きました各年次委員（2017年度版名簿で○又は◎がついた方）へ、7月下旬に各期の名簿を郵送し、確認作業の依頼をさせて頂いております。各年次委員の皆様には、ご協力頂き11月22日までにご返送頂けますよう、お願い申し上げます。

編集後記

予想もしてなかったコロナというウイルスの人類への攻撃。あらゆるイベントは中止になり、学校も閉鎖になり、社会も大きな影響を受けました。竹早中学校でも総会が中止になりました。

当たり前だった流れが、当たり前ではなくなり、普通でいられることの大きさがわかった1年でもありました。

一方、オンラインでの打ち合わせや在宅勤務などが否応なく促進されました。実際に会わなくても仕事なども意外とできるものだなと思った方も多いかも知れません。どんな物事にも良い面と悪い面があり、それを受け止めつつまた新たな一歩を進んでいきたいですね。

（文責 田上陸深）

同窓会ホームページをご活用ください。
<http://www.takahaya-jhs-dousoukaikai.net/>